上智大学国際公開講座

「カンボジア人熟練石工の伝統技法」の発表

アンコール・ワット修復に取り組むカンボジア人石工が石積み技術を公開

Public Presentation at Sophia University:
Traditional Technique of Cambodian Stonemason Skill

បទបង្ហាញជាសាធារណៈនៅសាកលវិទ្យាល័យសូហ្ស៊ីយ៉ា ៖ បច្ចេកទេសបុរាណនៃអ្នកជំនាញកាត់ថ្មខ្មែរ

三輪　悟
上智大学アジア人材養成研究センター研究員

本学が「カンボジア人による、カンボジアのための、アンコール・ワット遺跡保存修復」の理念を掲げ、1996 年にカンボジア王国・シェムリアップ市に上智大学アジア人材養成研究センターを開設して 20 年を迎えた。開設以来、遺跡修復分野での活躍を目指すカンボジア人留学生の受入れと本学での学位取得の支援や、現地での実技指導などを通じ、カンボジア人石工および遺跡保存官などの人材育成に取り組んできた。

また、現在はアンコール・ワット遺跡を管理するアプサラ機構と共同で西参道の修復工事を推進している。

本講座では、アンコール・ワットから本物の石材（計 5 個、合計で約 2 t）が日本に初めて持ち込まれ、現地で遺跡修復に従事するカンボジア人石工が、実際に現場で修復工事を実施している石材摺り合わせ技法、石削り技法、石材移動を披露した。

また、基調講演とパネルディスカッションでは、アンコール・ワット西参道をテーマに 2020 年の完成を目指し進行中の工事状況を日本とカンボジアの専門家が解説した。

○日　　時：　2017 年 3 月 17 日（金）13：30 ～ 16：30
○会　　場：　上智大学四谷キャンパス 6 号館（ソフィアタワー）101 室および隣接公開敷地
○プログラム
第 1 部　13：35 ～ 14：30
開会挨拶
基調講演
「アプサラ機構の活動と上智大学との協力関係」
カンボジア王国政府アンコール地域遺跡整備機構（アプサラ機構）総裁　スム・マップ

「アンコール・ワット西参道の修復史～ 900 年前の建設後、修復を繰り返して護られてきた史実を解明する～」

上智大学アジア人材養成研究センター研究員　三輪　悟

第 2 部　14：40 ～ 15：40

パネルディスカッション

テーマ：「アンコール・ワットの工事現場から」

平山善吉氏（アンコール・ワット西参道修復技術交流研修委員会委員長、日本大学名誉教授）

石井幸弘氏（全国優良石材店の会副会長）

ハウ・トイ氏（カンボジア・アプサラ機構石工棟梁・石材加工技能士）

司会：石澤良昭（上智大学アジア人材養成研究センター所長）

工事の安全を祈る奉納舞踊（カンボジア古典舞踊　アプサラダンス）

山中ひとみ、カンボジア舞踊グループ SAKARAK

第 3 部　15：50 ～ 16：30

石材加工技術の模範実演（カンボジア通訳および説明　三輪悟研究員）

カンボジア人石工 3 名および日本人石工指導者石井幸弘氏が、アンコール・ワット西参道修復現場で実際に行っている石加工技術を披露。

工事安全を祈る奉納舞踊とカンボジア人石工

採石場で石を切り出す作業の復元

下にコロを置き石を運搬する方法の復元

石同士を擦り合わせる作業の復元（バイヨンのレリーフにも見られる）